

平成26年 4月 17日

各 位

会社名	株式会社 リボミック
本 店	東京都港区白金台三丁目16番13号
代表者名	代表取締役社長 中村 義一
問合せ先	管理部長 宮崎 正是
(電 話	03-3440-3303)
ホームページ	http://www.ribomic.com/index.html

大正製薬と「アプタマー新薬」に関する共同研究契約の締結について

株式会社リボミック（以下「リボミック」）は大正製薬株式会社（本社：東京都豊島区、社長：上原 茂、以下「大正製薬」）と、このたび抗体に次ぐ次世代新薬の有力な候補である核酸医薬の一種、アプタマー医薬の開発について、複数年間の共同研究契約を締結しました。

この契約により、当社は大正製薬から共同研究費を受取り、当社が開発したアプタマー医薬の創製に関するプラットフォーム技術（RiboARTシステム）と大正製薬の創薬技術を結合して、核酸アプタマーを成分とした新規な分子標的薬を創製し、新薬候補品の臨床導入を目指します。

<参考>

株式会社リボミックについて

リボミックは平成15年8月に設立された東大医科学研究所（「東大医科研」）発の、核酸関連の研究成果の実用化を狙った創薬プラットフォーム系のバイオベンチャーです。

尚、「創薬プラットフォーム」とは、保有する創薬技術を様々な疾患領域に応用できることを意味します。研究員は、現在、18名で、本社ビルの他に東大医科研内にも自社研究所を有しています。

リボミックは東大医科研などのアカデミアの研究成果と自社で開発したアプタマー創製の技術を統合したプラットフォーム型のRiboARTシステムを用いて効率よく疾患関連タンパク質に対するRNAアプタマーを創製し、その医薬品化に向けた最適化を図る技術を保有しています。

<用語解説>

核酸医薬

生体内で遺伝子の発現に関わる核酸を用いた医薬品をいい、アンチセンス、siRNA、miRNA、デコイ核酸、リボザイム、アプタマーなどの種類があります。この中で市販されているものとして、アンチセンス薬が2品、アプタマーが1品あります。

アプタマー医薬

核酸が持つ立体構造に由来する様々な造形力とそれが疾患関連タンパク質に結合する特性に着目して、核酸成分を医薬品とするものがアプタマー医薬です。アプタマー医薬は、その作用メカニズムが抗体と類似することから核酸抗体と呼ばれることもあります。

RiboARTシステム

Ribomic Aptamer Refined Therapeuticsシステムの略で、ランダム配列の核酸プールの中から標的に結合するアプタマーを分離し、様々な加工によって、安定化や最適化を行い、細胞や動物を用いた薬効・薬理試験を実施して、医薬品候補を創製するまでの、一貫したアプタマー医薬造りのシステムです。これにより、通常では5～6年かかる創薬工程を半分程度に短縮できます。